

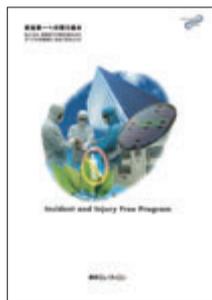
## 健康・安全

東京エレクトロングループにかかわるすべての人が健康であり、  
また安全に働くことができるよう、様々な取り組みを推進しています。

## 健康・安全についての考え方

当社グループは、企業の社会的責任の一つとして、社員やお客様をはじめ、企業活動にかかわるすべての人が安全に働き、安全に製品を使用し、そして健康であることが重要であると考えます。

1999年12月に「健康と安全」が重要であるとの考えに基づき、経営理念に「安全と健康と環境について」を加えてから10年が経過しました。この考え方は今もなお「安全・健康・環境」の原点です。当社グループでは「安全・健康・環境」に配慮することが、良いビジネスへと結びつくと考えています。人命および各種設備や機器の安全性を損なってまで、利益や納期を優先するようなことがあってはいけません。こうした考え方や当社グループにおける安全への取り組みを、お客様を含む幅広いステークホルダーの皆様



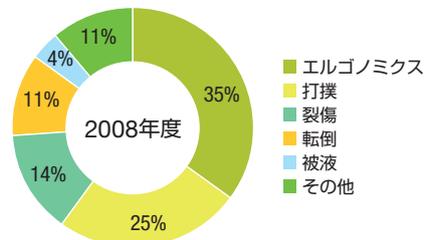
安全第一への取り組み冊子

様に理解していただくために、「安全第一への取り組み」を作成して配布しています。

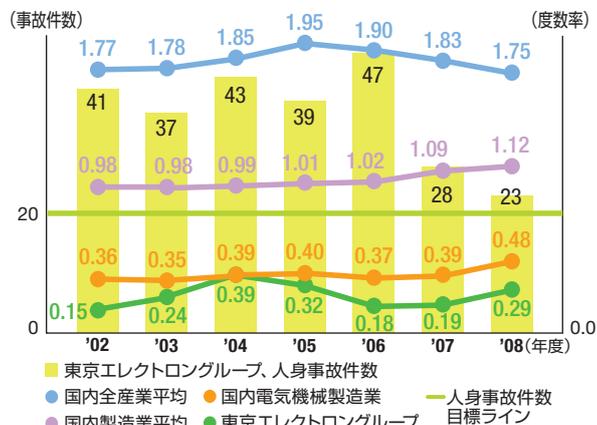
## 人身事故の管理

2008年度の当社グループ全体での応急処置を除く人身事故の件数は、売り上げや製品出荷量が前年度と比較して減ったこともあり約18%減少しました。しかし、目標である前年度比30%減は達成できませんでした。2008年度の人身事故の結果を分析したところ、エルゴノミクス(人間工学的な要因)の事故や打撲に関する事故の割合が大きかったため、2009年度はこの点に対して重点的に対策を行う予定です。

## 人身事故の分類



## 労働災害度数率と人身事故件数の推移



※事故件数は2000年度を100とする。

※労働災害度数率：100万延労働時間あたりの労働災害件数。

## 安全教育の実施

当社グループでは、2000年7月よりグループ全体でコンセプトを共有し、安全教育を進めています。当社グループで働くすべての人を対象に、独自で作成したテキストを利用して基礎安全教育を行っています。クリーンルーム内での作業をはじめとする技術作業を行う作業員には、上級安全教育を実施しています。この教育では、社団法人日本半導体製造装置協会(SEAJ)にて作成された「SEAJ推奨サービス安全教

## TOPICS

## 環境安全IDEA BOXの設置

今後の環境および安全への取り組みに活用することを目的として、全社員を対象に環境・安全に関する提案を受け付ける環境安全IDEA BOXを設置しました。3ヶ月と限定しましたが、問題を正確に把握するために匿名での提案とし、多くの社員から提案が寄せられました。提案事項には職場環境(空調)の改善、安全面での重量物配送手配の注意など、多岐にわたる改善提案がありました。職場内の省資源・省エネルギー・環境の快適化などIDEA BOXの声は貴重な意見であり、今後の環境・安全活動に活かしていく予定です。





上級安全更新教育

育」のテキストを利用し、そのガイドラインに従った運用をし、初回時は実習を含んだものとしています。SEAJのガイドラインでは3年に一度の更新教育が記載されていますが、当社グループではWEBを利用して、この更新教育の内容を三つに分割して、毎年実施しています。当社グループで発生した事故やヒヤリハットの事例を入れることにより、受講者の危険意識を高め、実際の業務に役立つものを目指しています。また、WEBを利用することにより、インターネットにて学習できるため、個人の業務都合により時間を問わず履修することができます。さらに、履修状況がWEBにてわかるため、教育対象者へ履修が完了するまでフォローすることができます。今後は、更新教育にて実習を行うことも計画しています。

## 事故事例の活用

当社グループでは、過去に発生した事故の再発防止を目的に、当社グループで実際に発生した事故の事例をイラスト入りの事故事例集としてまとめています。この事例集は、和文・英文を印刷物として社員に配布し、イントラネットに掲載するなどして当社グループ

内でグローバルに情報を共有しています。また、開口部作業、高所作業、重量物作業時などの事故防止のため、安全教育ツールの一つとして、各種安全講習などにおいても使用しています。さらに、簡単に言葉やイラストでは表現できない事例については、3Dバーチャルリアリティー技術を導入し、現場で起きた事故をリアルに再現する映像を用いて、事故の概要、原因、時系列でのコミュニケーション状況の一連の流れと、実際に取られた対策を視聴・体感することができます。今後は、これらの事故事例や事故の統計データを業界内で共有することも計画しています。これらの活動が業界全体の安全啓発につながり、世界中の作業現場で働くエンジニアが安全かつ安心して働ける作業環境の構築に寄与することができ、当社グループの社会的責任を果たすことにもつながると確信しています。



バーチャルリアリティを用いた映像



事故事例集



## TOPICS

### ヘルシーウォーキングの実施

東京エレクトロン健康保険組合(HIS)では生活習慣病の予防の一環として、国内勤務者およびその配偶者と親を対象にウォーキングを推奨しています。参加者には万歩計が配布され、90日間で合計60万歩以上を基準に目標を設定し毎日の歩数を記録し、HISに提出します。60万歩以上を達成した参加者には賞品が贈られます。2008年度には2,252人が参加し、71%が60万歩以上を達成しました。参加者からは「このような企画があると意識して毎日歩くようになるのできっかけをつくってくれる良い機会だった」「万歩計をつけ歩数を記録することで、積極的に健康を意識して生活することができた」といった感想が寄せられました。